

第54号



南円山連合町内会シンボルマーク

南円山ふれあいだより

啓明子ども会
「ローソク出せ」

8月7日（水）、啓明子ども会では手作りの提灯を片手に、幼稚園児から6年生までの13名が「ローソク出せ、出せよ」と元気な声で町内のお宅を回り、お菓子をいただきに回りました。

手さげ袋がお菓子でいっぱいになり、子どもたちも大喜び!!

最後にはヨーヨーつりもさせていただき、楽しい思い出となりました。

啓明町内会に、子どもたちの可愛らしい歌声と歓声が響いた「七夕の夕べ」でした。



新会長あいさつ

さくら町内会会長
今 野 みゆき

この度、さくら町内会長の任を拝しました今野みゆきと申します。エリアは円山の麓から、東へ3丁程の範囲で日々円山の豊かな自然、四季折々の風情を身近に感じながら、ほぼ南富良野町と同じくらいの人口の方が生活していらっしゃると思います。歴史ある町内に長く住んでおられる方々と、活発な子ども会の活動に、未来にも開いていきながら、快適な町内を保てるよう、役員の方々と力を合わせて活動して参りたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

まちづくり
センターより

7月から南円山まちづくりセンター所長となりました洞野（どうの）です。南円山地域の皆様には、日ごろより札幌市の行政にご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

いろいろ至らぬことが多く、皆様にご迷惑をおかけしておりますが、これまでの経験を活かしながら、少しでも南円山地区のお力になれるよう努めてまいります。

また、昨年度から引き続き支援員として村越さん、関根さんがまちづくりセンターの業務に携わっています。どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

敬老の日の由来

敬老の日の由来は、1947年兵庫県多可郡多可町野間屋村（現在の多可町）の門脇正夫村長が提唱した「としよりの日」が始まりとされています。

当時村では「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしましょう」という趣旨のもと、1947年から農閑期の9月中旬の15日を「としよりの日」と定め敬老会を開くようになりました。これが兵庫県全体で行われるようになり1954年には国民の祝日と制定され、全国で祝つようになりました。

その後、1966年に「国民祝日法」が改正され、「敬老の日」と名称が改められました。

2001年ハッピーマンデー制度の施行に伴い「9月の第3月曜日に移行されました。

「南円山ふれあいだより」

発行 南円山地区福祉のまち推進センター
協賛 南円山連合町内会
編集委員長 土屋公保
編集委員 藤井 恵・高橋智美
協力 南円山まちづくりセンター
所長 洞野昌史
南円山会館 南9西21・11
電話 5611-2472

南円山地区福祉の
まち推進センター
研修会開催

「認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために」

南円山地区福祉のまち推進センター研修会を7月16日（火）、南円山会館において開催し、福祉推進員など約30名が参加しました。

今回は、中央区第2地域包括支援センターの片山綾乃氏を講師に迎え、「認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために」をテーマに実施しました。

片山氏は、地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとなどの支援ニーズと、認知証の人や家族を応援する「認知症サポーター」を結びつける「オレンジジョーディネーター」の仕事をしています。

講演ではまず、認知症の原因となる病気にはアルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症



などがあり、症状や進行の仕方など個人によって様々との話がありました。

また、暮らしの中で、できるはずのことが上手でできないなど「何かおかしい」と感じたら、一人で悩んだりせず、周りの人に相談すること、身近な存在



である家族が早い段階で変化に気づき、医療機関を早めに受診することが重要との話がありました。

誰もが認知症の正しい知識を持ち、そのうえでちよつとした工夫や気づきがあれば、認知症の人や家族の見守りができることを学びました。

南円山登山会

9月22日（日）、南円山登山会が行われました。

南円山会館を出発し、緑一色に覆われた登山道から山頂を目指しました。天空にそびえ立つカツラやミズナラなどの巨木に迎えられ、自然の癒しを十分に満喫しながらの登山になりました。



山頂に着くと、眼下の南円山から広がる札幌市街の素晴らしい眺望を満喫しました。

下山しゴールの南円山会館に到着後は、参加者にハンバーガーと飲み物が振舞われ、大満足の登山会となりました。



いつまでも お元気で！ 敬老事業が行われました



9月16日（月・祝）の敬老の日にあたり、南円山地区福祉のまち推進センターの敬老事業として、80歳以上の方約950名に記念品を進呈しました。

この敬老事業は、地域の見守りや交流の機会にもなっています。各町内会の役員や民生委員・児童委員などが、各ご家庭を訪問し、お祝い文と記念品のお茶をお届けしました。



南円山地区の安全・安心な まちづくりを考える会を 開催しました。



7月2日（火）、南円山会館において、5年ぶりに「南円山地区の安全・安心なまちづくりを考える会」総会及び研修会が開催され、地域の学校や町内会関係者、保護司、民生・児童委員など約30名が出席しました。

また、ネットやSNSの長時間利用による学力低下や健康面への影響も指摘されています。青少年の健全育成や安全・安心なまちづくりのために、家庭・学校・地域が協力して、啓発や指導を行っていく必要があることを改めて確認しました。

研修会は、（公財）北海道青少年育成協会の山田聡氏を講師として、「SNSに夢中になる子どもたちの現状と課題」をテーマに実施をしました。青少年を取り巻く現状として、いじめ・不登校や非行、虐待、ヤングケアラーなどの様々な課題がありますが、近年は特に、SNSに起因するトラブル（いじめ、誹謗・中傷、犯罪被害、闇バイトなど...）が激増しているとのことでした。



ふわりあそび子育てサロン

7月27日（土）と8月8日（木）、南円山会館で「ふわりあそび子育てサロン」が開催され、合わせて51名の親子が参加しました。

夏休み中ということ、旭丘高校ボランティア同好会と啓明中の有志の生徒、のべ23名がボランティアスタッフとして協力してくれました。中には小さい頃、親と一緒に来ていたという人もいて、地域に密着した子育てサロンが長く続いていることを実感しました。



優しいお兄さん、お姉さんに遊んでもらい子ども達も大喜び。いつも増して賑やかなサロンになりました。



7月の夏祭り縁日ではヨーヨー釣りやお菓子すくい、キャラクターのお面づくりで盛り上がりました。8月は保健センターの歯科衛生士による歯磨き講座、南円山保育園の管理栄養士による離乳食講座と多方面の方々の力をお借りしながら、子育て中のお父さんやお母さんに情報やアイデアを届けられたのではないかと思います。